

道の動き

情報化施工の取組状況

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
TSによる出来形管理技術 (10,000m ³ 以上の土工を含む工事)		使用原則化				
TS・GNSSによる締固め管理技術						
ICT(MC・MG技術)機械による施工						
全面的なICT活用工事 (施工プロセス全ての段階においてICT活用)						
部分的なICT活用工事 (施工プロセスの一部の段階においてICT活用)						

現状

- 道内建設技能者等の高齢化、若年入職者の減少
- 道内建設業の厳しい経営環境
- ICT活用への期待

国の動き H28～

i-Construction ～建設現場の生産性革命～

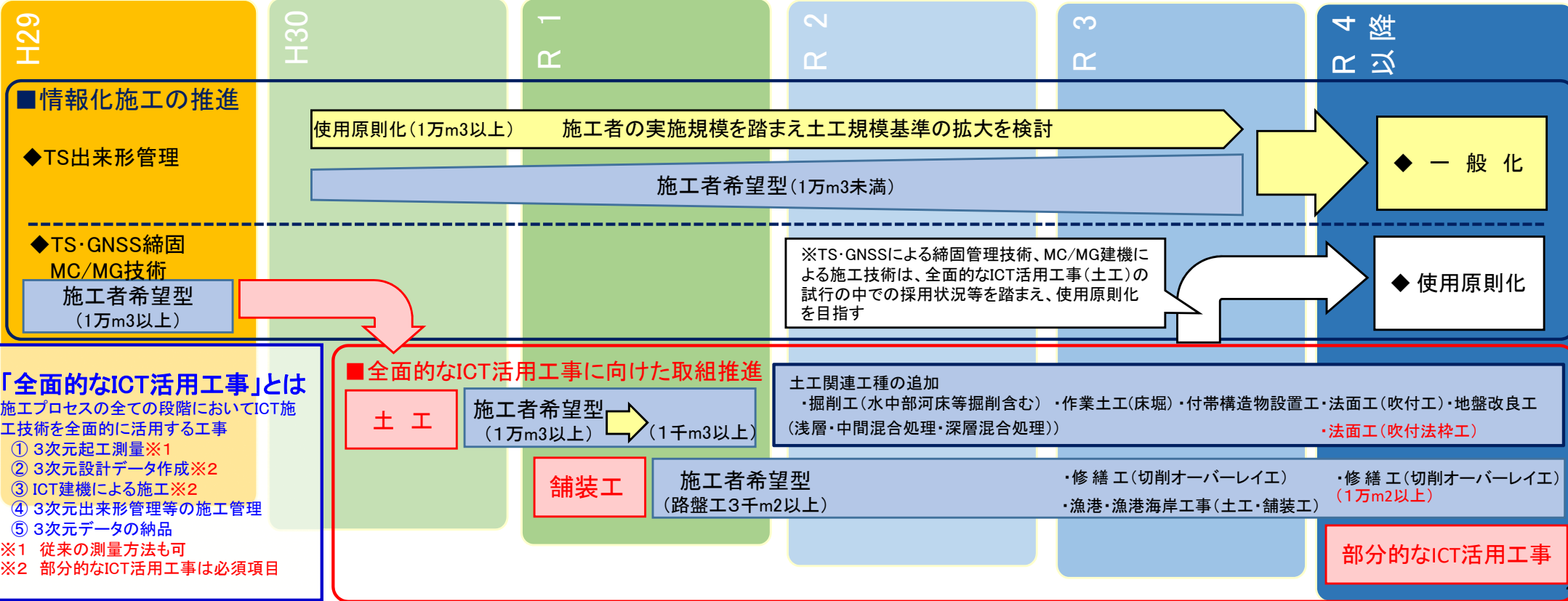
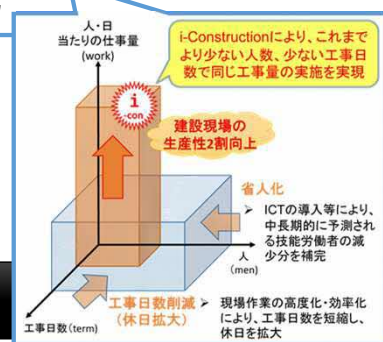
- ① ICTの全面的な活用(ICT土工)
- ② 全体最適の導入(コンクリート工の規格標準化等)
- ③ 施工時期の平準化

建設現場の生産性向上、安全性向上のため、取組の加速が必要

見直しの視点

国の「i-Construction」の動向を踏まえ、ICT活用工事取組拡大のため、対象工種等の拡大

新・取組方針(工程表)



「全面的なICT活用工事」とは
 施工プロセスの全ての段階においてICT施工技術を全面的に活用する工事

- ① 3次元起工測量※1
- ② 3次元設計データ作成※2
- ③ ICT建機による施工※2
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

※1 従来の測量方法も可
 ※2 部分的なICT活用工事は必須項目